

集会案内

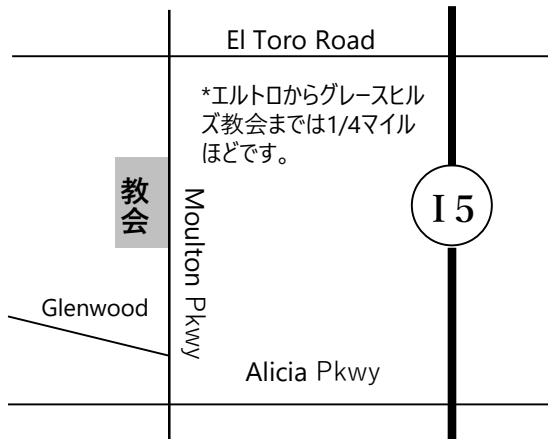
毎週日： 祈 禱 会 1 : 1 5 p m - 1 : 4 5 p m
礼 拝 2 : 0 0 p m - 3 : 2 0 p m
茶 菓 3 : 3 0 p m - 3 : 5 0 p m
聖書研究 4 : 0 0 p m - 4 : 5 0 p m

毎月1回：家庭集会 ラグナ・ウッズ、又はアーバイン
10 : 30 a m ~ 昼食

教会住所： c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637

- ◎ 私達の礼拝は第1バプテスト教会グレース・ヒルズ教会堂内のチャペルで行なっています。
- ◎ 子供たちのためのサンデー・スクールもあります。また、遊具等の設備も豊かに整っております。
- ◎ 13年前に始まった日本語教会です。どなた様もお気軽にお出かけ下さい。

教会の地図



ホームページ: www.irvinenihongokyokai.org

 Irvine Nihongo Kyokai

連絡先:

杉村 宰 牧師 電話：(714) 527-1456
Eメール: sugimura1950@gmail.com
田畑 彰 牧師 電話：(949) 701-6502
Eメール: mt.moriya77@gmail.com

Rev. Tsukasa Sugimura

◎石叫 ■ 「子を抱く母」

このサンデー(二〇一八年十一月二十五日)の礼拝後、娘のジョイイから電話があった。「ダディ、今からマックスを抱けるのよ」と言う。初孫は一週間前に無事に生まれたが、予定日より二ヶ月も早い未熟児であった。娘は帝王切開の直後に、麻酔が効いて意識朦朧とする中で、赤子としばらく添い寝はしたが、娘が意識的に抱くという事はなかった。赤子はそれからすぐに保育器に移されたため、娘はその中に両手を入れて包み込むようにするのが精一杯であった。ところが、その日の夕方、生後一週間のわが子を自分の胸に直接抱けるといふのだ。生後一週間ものあいだ、特に母親が保育器の中に寝かせられているわが子を抱けないというのは、何とも辛いことであつたらう。電話の向こうから聞こえる娘の弾んだ声を聞いて、僕はこみ上げてくる感動を覚えていた。

その日の夜、娘がマックスを抱いているビデオが送られてきた。赤子は娘に抱かれて安らいでいる。娘は何度も何度も赤子の背中をさすり、頬ずりをしては、また背中をさすっている。まだ何も言えないその子は、母の胸の中で両手を広げ、びったりと寄り添って眠っている。この世界に、これほど美しい情景があるだろうか。それは言葉では名状しがたい。後で娘に聞くと「とっても不思議な感じだった」と言う。母子が寄り添う姿はこんなにも感動を呼び起こすものだろうか。僕はビデオを見ながら、そこにほとばしるような神の愛を見た。

天国で私たちが父なる神の懐に迎えられる情景を描いたシーンがある。放蕩息子の場面だ。放蕩三昧をして身を持ち崩し、そのままでは死ぬしかないという中で自分の罪深さに気づき、父のもとに帰るといふのだが、その息子を父は「まだ遠く離れていたのに、父は彼をみとめ、哀れに思っ走り寄り」(ルカ一五・20)というストーリーである。聖書の中で、この情景ほど神の愛を豊かに表現している箇所はあるまい。いつ帰るとも知れないわが子を、今か今かと待ちわびる父の愛こそ、私たちの父なる神の真実なお姿である。神はそうように私たち一人ひとりがご自身のみもとに帰ってくることを、一日千秋の思いで待っておられるのである。娘の両手にすっぽり入るほどの小さな赤子を見ながら、僕もこのように神の懐に抱かれる日が来ることを展望させていた。

「私達の教会の歩み」

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、田畑彰牧師、ジェームス・パーク牧師、佐藤裕士兄と信徒達の協力ですべての週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをし、月一回の家庭集会を開いております。

「ミッション・ステートメント」

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令(マタイ28:18-20)に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。